



BIM認証(Design & Construction @BSI Kitemark™) 取得によりCurtins社に競争力をもたらしたものの

「ビルトエンバイロメント業界において、BSI Kitemark認証を取得した組織は、ごくわずかです。認証を取得することで他の多くの建設コンサルタント会社との差別化を図り、ビジネスを推進するための競争力を与えてくれました。」

Neil Parkinson氏
Curtins社 担当役員

企業背景: Curtins社

Curtins社は、ビルトエンバイロメント業界で活躍する、様々な受賞歴のあるコンサルタント企業です。土木及び建築の技術スキルは業界では広く知られており、インフラストラクチャ及び輸送計画から保全及び環境サービスに至るまであらゆる分野において専門知識を提供しています。

約60年前に創業し、Curtins社はリバプールの小さなコンサルタント会社から、英国及びアイルランドに14のオフィスを構え、400人以上の従業員を抱えるまでに成長しました。今も独立して操業し、チームとして活動することに誇りを持ち、クライアントやサプライチェーンパートナーと協力して、エクセレンスを提供しています。コラボレーションアプローチにおける重要な要素はBIM機能であり設計及び建設のためのBSI KitemarkでのBIM Level 2認証によって実証されています。

BSI Kitemark 認証:

- 設計及び建設のためのBuilding Information Modelling (BIM) Level 2におけるベストプラクティスを実践するお客様への認証を提供
- BIM Level 2に対する英国政府による「契約条件」要求への順守を実証
- 契約履行の成功、顧客満足、効果的なサプライチェーンマネジメントを証明
- 業務効率を促進
- 企業ブランドを向上
- 企業の差別化により、競争上の優位を創造

一目でわかるBIM

英国政府のBIM担当グループによってBIMは「資産のライフサイクル全体にわたって価値を生み出すコラボレーションであり共有3Dモデルの作成、照合、交換及びそれに接続された聡明な構造化データによって支えられている」と定義されています。

基本的に、BIMはプロジェクトの開発段階以降、すべての適切な情報を適切な人々が適切なタイミングで適切な形式で利用できるようにするプロセスです。共通の言語を作成し、知識を共有し、開発者、建築家、コンサルタントから請負業者、下請業者、資産管理者まで、関係するすべての関係者間の透明性を高め、建設資産を創造するためのすべてのコンポーネントを統合するものです。

プロジェクトの設計及び建設段階に対するBIMの要求事項に対応するISO 19650などの一連の規格がBIMの実施をサポートします。2016年4月以降、英国政府はすべての政府委託建設プロジェクトに対し「BIM Level 2」を要求する契約条件を導入しました。要求を満たさなければ、公共事業の入札から除外されます。

早期導入

1980年代、Curtins社は英国においてデジタルテクノロジーに投資した最初のエンジニアリングの一社でした。政府によるBIM命令よりはるか昔の2005年までにはAutodesk社のRevit Structureソフトウェアへの最初の投資家の1つになりました。同社は、BIMが製図テクノロジーの単なる進化ではなく、建設プロジェクトにおいてチームが共同で作業する方法により広範囲でシフトするための触媒であることを早期に認識していました。BIMは初めてビルトエンバイロメント業界すべてが採用できるフレームワークと品質基準を作成しプロセスを統合してより効果的に共同作業をできるようにしました。

Curtins社担当役員のNeil Parkinson氏は「当社の従業員及びお客様は早期導入により恩恵を受けてきて、テクノロジーへの投資に関する当社の歴史を考えるとBIMの最前線にいる当社の立ち位置は、珍しいことではありません。」と説明します。また、同社のデジタルデリバリーマネージャーのLee Barnett氏は「当社は多数のBIMオーサリングソフトウェアを活用して、才能あるマルチスキルの労働力を着実に開発してきました。主要なエンジニアリングBIMツールとしてAutodesk Revit及びAutoCAD 3D Civilsを使用しています。」と述べています。

BIM 検証

図面や仕様から材料や測定に至るまで、正確な情報を照合することにより、BIMは確実にサプライチェーン全体で問題を回避し、時間、コスト、無駄を節約できます。しかし、Curtins社は、BIMプロジェクトを提供する他の企業、特にBIM機能について根拠のない主張を行う企業と差別化する方法も必要でした。

差別化を図るためにCurtins社はBIM機能に対する独立した認証を追求することにしました。そしてBIM導入のすべての領域においてISO 19650へのプロセスの準拠を確認するBSIによるBIM Level 2検証に乗り出しました。

「非常に信頼のおける第三者であるBSIを監査員として選択しました。」「2017年11月、当社はBSI検証を達成しました。これにより、当社には、オフィス全体でBIM Level 2プロジェクトに取り組むために必要な専門知識及びプロセスが整っていることがわかりました。おかげで当社の作業方法が適切に文書化され、厳密に評価され、独立して検証されていることをお客様やサプライチェーンパートナーに確信いただけました。」とBarnett氏は言っています。

BSI Kitemark 「ゴールド規格」

Curtins社は、その荣誉に甘んじることなく、新しいBSI Kitemarkの達成をBIM品質の基準をさらに高くする手段、また競争力をさらに高める手段として捉えました。一世紀以上にわたりBSI Kitemark承認の製品及びサービスは最高水準を達成するものとして認識され、同様に、BSI Kitemarkは、世界中のビルトエンバイロメントビジネスの承認の証として機能します。この承認は、完了済のBIMプロジェクト、顧客満足度、サプライチェーンマネジメントという3つの主要な領域における評価に基づいています。

設計及び建設のためのBIM Level 2検証はCurtins社にとってBIM Level 2機能の貴重な証拠となりましたが、BSI Kitemark認証はBIM成熟度におけるより高いレベルを示し、実際のBIMプロジェクトのCurtins社の成果物を評価することにより、ベストプラクティスへの会社の取組みを実証します。

「2018年を通じて、BIM Kitemark認証を目指しBIM専門分野をさらに発展させました。」

「BIM Level 2プロジェクトの提供における当社の成功を認めるといって、"ゴールド規格"です。」とBarnett氏は言っています。

認証のベネフィット

Barnett氏は、BSI Kitemarkを3つの主な理由から「強力なツール」と説明します。1つ目は、BIMの下でのプロジェクトの成果及び完成品について、Curtins社の顧客に対し、例えば、品質及び納品の時間など、契約上の特定の要求事項を一貫して満たすことができるという最高レベルの保証を提供するという点です。

2つ目は、認証により、Curtins社がプロジェクトの成果に対して顧客の満足度をモニターしていることを実証する点です。会社がプロジェクト固有の顧客満足度の目標を定義し、その達成レベルを測定することを示しています。

3つ目は、Curtins社がサプライチェーンを効果的に管理し、デジタル技術を使用してプロジェクトに付加価値を与え、無駄や非効率を排除することで、共同作業に対する能力において顧客に自信を与えていることを示している点です。

今後の展望

Curtins社は、ビルトエンバイロメント業界においてBIMの最前線に留まることを決意しています。「当社のBIMプロセスは当社の品質マネジメントシステムの重要な部分を形成しており、これらをより良く統合して、成果物の品質及び効率を改善するために取り組んでいます。」「また、デジタル配信機能をさらに改良して、専門分野、特に土木及び構造工学の分野全体で一貫したアプローチを確保しています。」とBarnett氏は述べています。

BSI Kitemarkは、引き続きCurtins社のデジタル変革を支えます。Neil Parkinson氏は次のように締めくくりました。「ビルトエンバイロメント業界において、BSI Kitemark認証を取得した組織は、ごくわずかです。認証を取得することで他の多くの建設コンサルタント会社との差別化を図り、ビジネスを推進するための競争力を与えてくれました。」

お問い合わせ先

Email: Japan.Testing@bsigroup.com

ウェブ: bsigroup.com/ja-JP